



JAPAN OLYMPIC MUSEUM

～日本オリンピックミュージアム 訪問～



新たなオリンピック・ムーブメントが、

ここから動きだす。

JAPAN OLYMPIC
MUSEUM
日本オリンピックミュージアム

友情・連帯・平和の発信拠点

9月14日にグランドオープンした「日本オリンピックミュージアム」は、来年に控えた「東京オリンピック」の発信拠点として、スポーツを通じて友情、連帯、フェアプレーの精神を培い、相互に理解し合うことにより、平和でより良い世界の構築に貢献すること(オリンピックイズム)を目的として建設された。

今回の「史跡めぐり」は来年、東京を中心に開催されるオリンピックで、新たな歴史を刻むことが確実な発信拠点を訪れた。

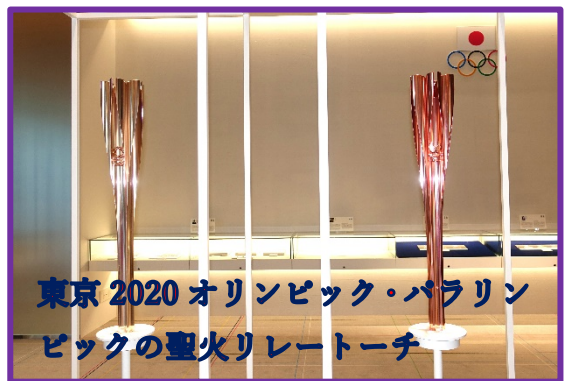
史跡クラブ

元気に活動中!!

2014年(平成26年)の、『さいたま市シニアユニバーシティ第4期北大宮校』で、「史

跡クラブ」を結成してから、はや6年が経過。この間、メンバーの仲間たちは年齢を重ねるごとに、さまざまな事由で構成メンバーが減少傾向にある。こうした状況ではあるが、史跡クラブは、2カ月に1回のペースで今も元気に、愉快地、楽しく、積極的に「史跡めぐり」を催している。

11月8日(金)大宮駅に9時40分集合。今回はメンバー全員の6人が集まった。JR京浜東北線にゆられ、東京駅を通過し、新橋駅に到着した。地下鉄 銀座線に乗換え、6つ目の駅、外苑前駅に到着した。駅構内はオリンピックを見据えて数年前から工事中だった。青山通りからスタジアム通りへ進むと、左右の道沿いには、秩父宮ラグビー場、神宮球場、日本青年館や多数のオフィスパイルが立ち並んでいた。



東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレートーチ

知って 触れて

体験して、未来へつなぐ

歩いて10分。前方に東京オリンピックのメイン会場になる建設中の国立競技場がドカンと姿を表し、道路の左手に目的の「日本オリンピックミュージアム」が見えてきた。JOCと市民が接する初の常設施設となるこの建物は、JOCの“使命”オリンピック・ムーブメントの推進を果たすことを目的に設置された。オリンピックやアスリートが定期的に来場し、自身の体験を子どもたちに伝える機会を作るなど、「オリンピックの振興・推進・伝道の施設」とも位置付けている。1階は、アスリートたちの

※ 次回の予定 ※

- 開催日
2020年1月5日(日)
- 訪問地
東京 谷中七福神めぐり

史跡クラブでは、一緒に活動する仲間を募集中です。

映像などを流すビジョンや、都内の小中学生らが作った五輪マークのオブジェを飾るウォールなどが来場者を出迎える。五輪モニュメントなどが並ぶ広場に面した入口にはカフェ「FIVE RISING CAFE」を併設。グランドオープン企画として「ウェルカムサロン」では、東京五輪・パラリンピックのメダルや聖火リレーのトーチ、スポーツピクトグラムなどを展示している(12月25日まで)。
2階は常設展示で有料エリア。ギリシアでオリンピック開かれた古代オリンピックの起源から近代オリンピックの誕生の背景、参加国・地域の推移などを紹介する「世界とオリンピック」コーナーには、過去25大会(夏季16大会・冬季9大会)のトーチも並べてあった。みなさんも、ぜひ訪れてみては? ※ 観覧料金は一般500円(但し、65歳以上は400円)